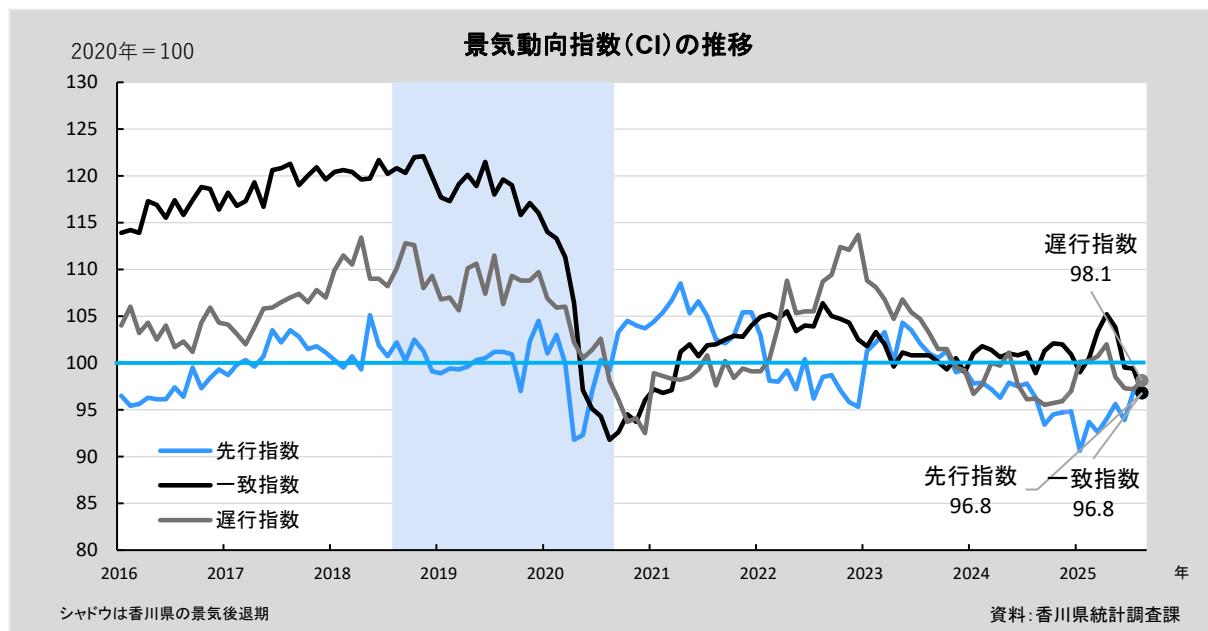


概況	持ち直している。
個人消費	緩やかな増加基調にある。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直しの動きに弱さがみられる。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出は増加、輸入は減少している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

## 景気動向指数(かがわ CI)

## 一致指数 4カ月連続下降



景気の現状をみると、8月のCI一致指数は96.8（前月比▲2.6ポイント）と4カ月連続で下降。CI先行指数は96.8（同▲0.1ポイント）と2カ月ぶりに下降。CI遅行指数は98.1（同+0.9ポイント）と4カ月ぶりに上昇。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、有効求人倍率、鉱工業出荷指標等が下降に寄与し、前月から2.6ポイントの下降となった。

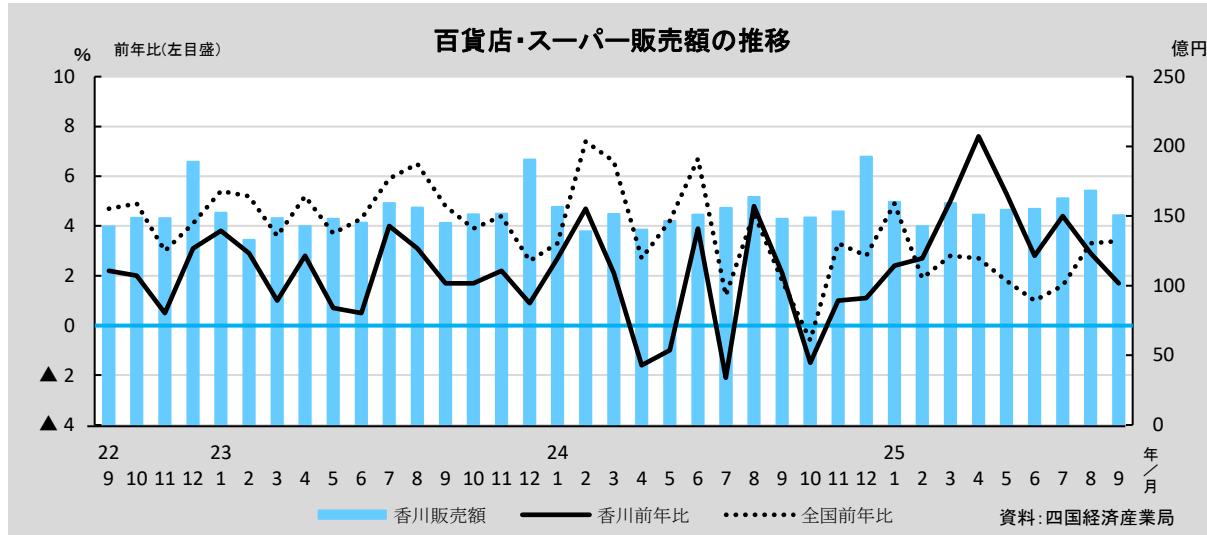
採用景気指標	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
	1 新規求人人数	▲ 0.20	1 雇用保険受給者実人員	▲ 0.41	1 常用雇用指標	0.58
	2 乗用車新車登録台数		2 有効求人倍率	▲ 0.93	2 有効求職者数	▲ 1.01
	3 鉱工業在庫率指標	▲ 0.99	3 所定外労働時間指標	▲ 0.04	3 消費者物価指標	▲ 0.09
	4 新設住宅着工戸数	0.52	4 鉱工業生産指標	▲ 0.41	4 家計消費支出	0.71
	5 金融機関貸出残高	▲ 0.03	5 鉱工業出荷指標	▲ 0.90	5 鉱工業在庫指標	▲ 0.68
	6 消費者態度指標	0.60	6 建築着工床面積	0.27	6 法人事業税調定額	1.21
			7 百貨店・スーパー既存店販売額	▲ 0.16	7 第3次産業活動指標	0.12

## 個人消費

緩やかな増加基調にある

### ●百貨店・スーパー販売額

11カ月連続増加 

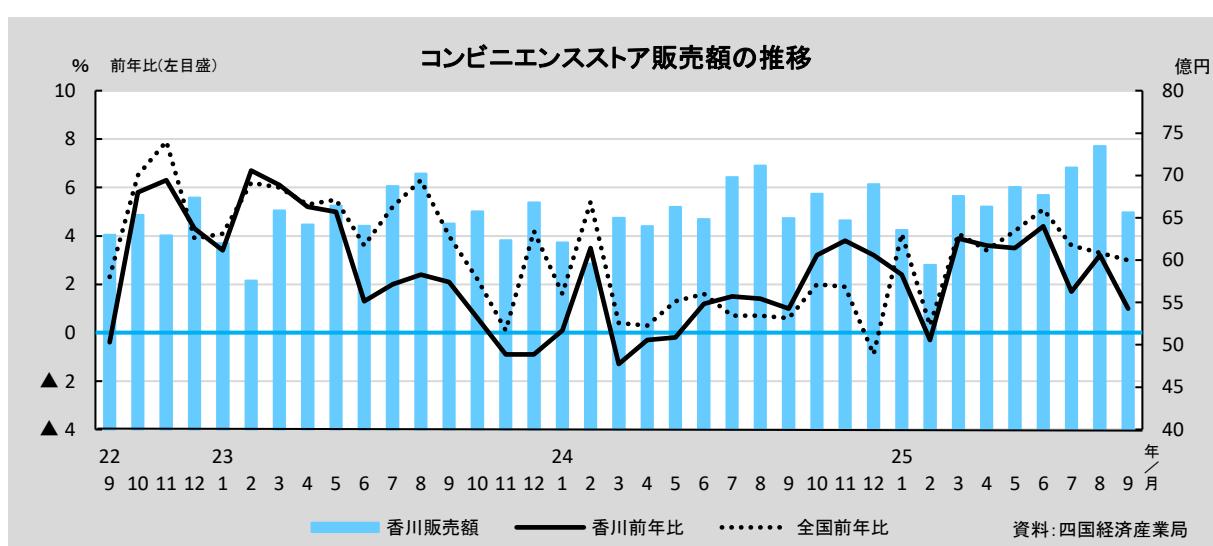


2025/9月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(百万円)	756	542	11,604	19	40	661	1,430	5	15,056
前年同月比(%)	▲5.2	▲12.6	5.5	48.2	▲2.0	▲0.2	▲14.2	2.1	1.7

9月の百貨店・スーパー全店（89店）の販売額は150.6億円で、前年同月比+1.7%と11カ月連続で増加した。「飲食料品」は米の高値が続いているほか、冷凍食品や総菜が堅調に推移したことなどから同+5.5%と前年を上回った。一方、「身の回り品」はインポートバッグなどの動きが鈍く同▲12.6%、「その他の商品」は化粧品が振るわず同▲14.2%と減少した。

### ●コンビニエンスストア販売額

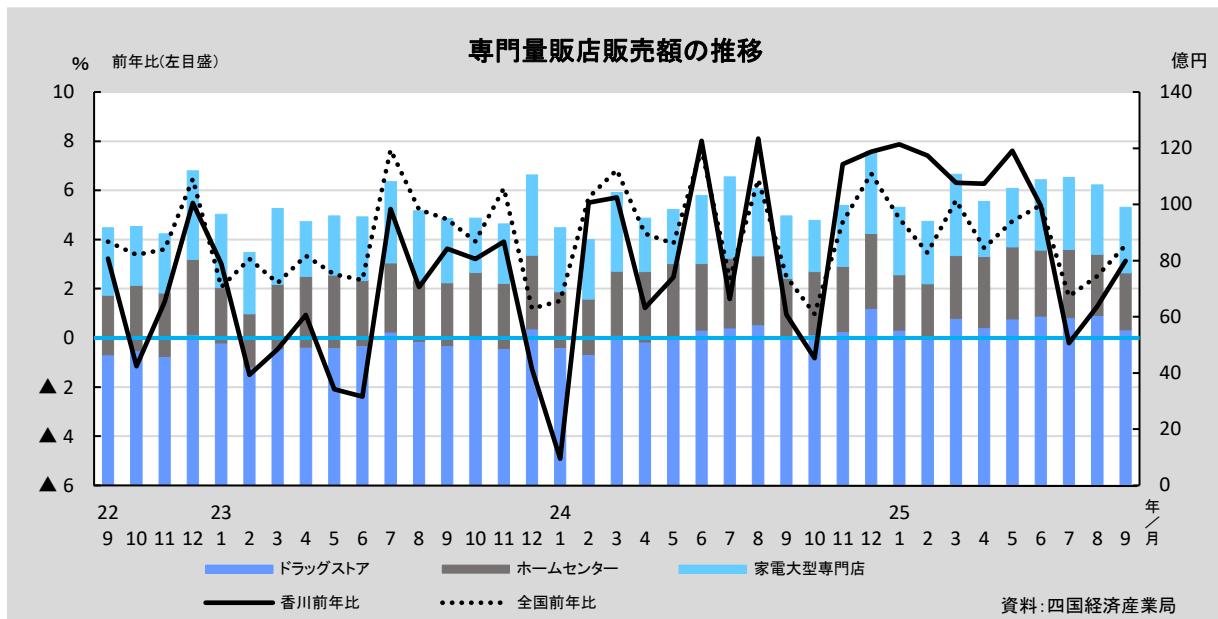
7カ月連続増加 



9月のコンビニエンスストア全店（407店）の販売額は65.7億円で、前年同月比+1.0%となり、7カ月連続で増加した。

## ●専門量販店販売額

2カ月連続増加 ↑

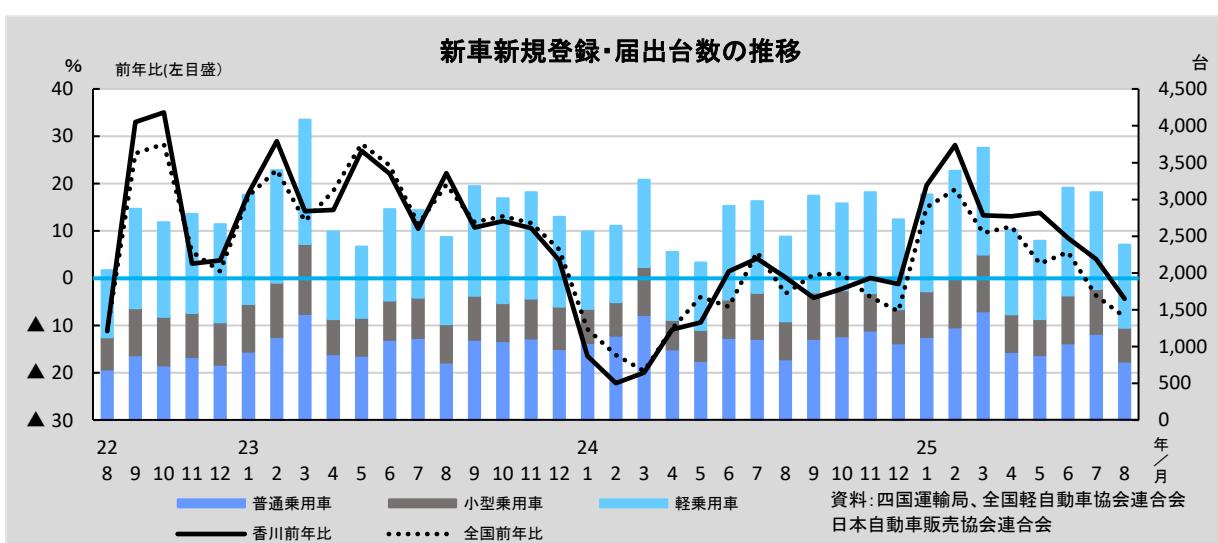


9月の専門量販店全店（231店）の販売額99.0億円で、前年同月比+3.1%と2カ月連続で増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（27店）の販売額は23.4億円で前年同月比+4.8%となった。**ドラッグストア**（158店）の販売額は、55.3億円で同+6.1%となった。**ホームセンター**（46店）の販売額は、20.3億円で同▲5.8%となった。

## ●新車新規登録・届出台数

8カ月ぶり減少 ↓



8月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,386台で、前年同月比▲4.4%と8カ月ぶりに減少した。

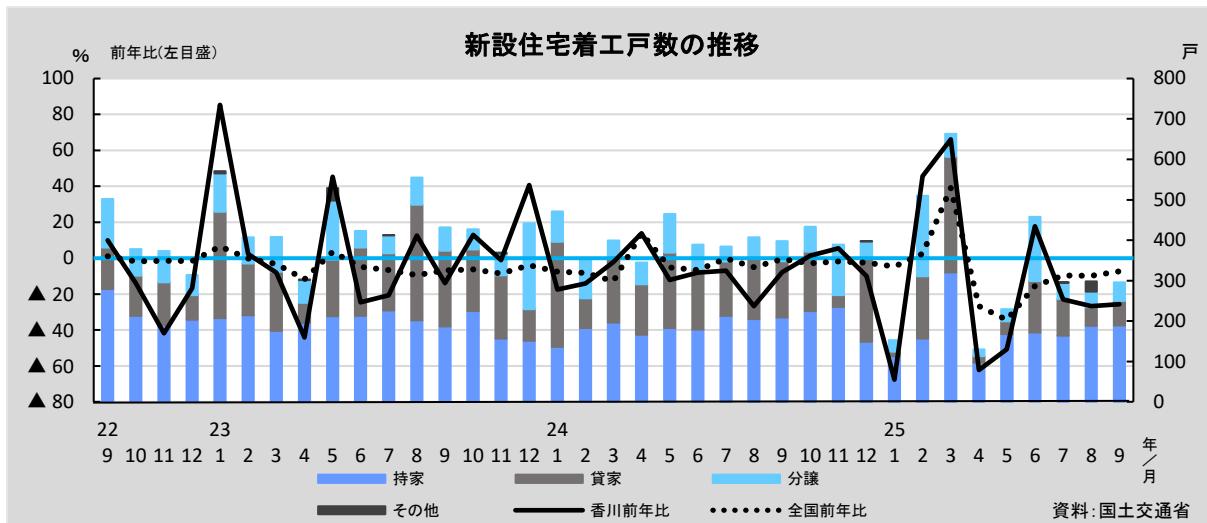
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比▲3.7%、小型乗用車は同▲10.8%、軽乗用車は同▲1.9%となった。

## 住宅投資

低調に推移している

### ●新設住宅着工

3カ月連続減少



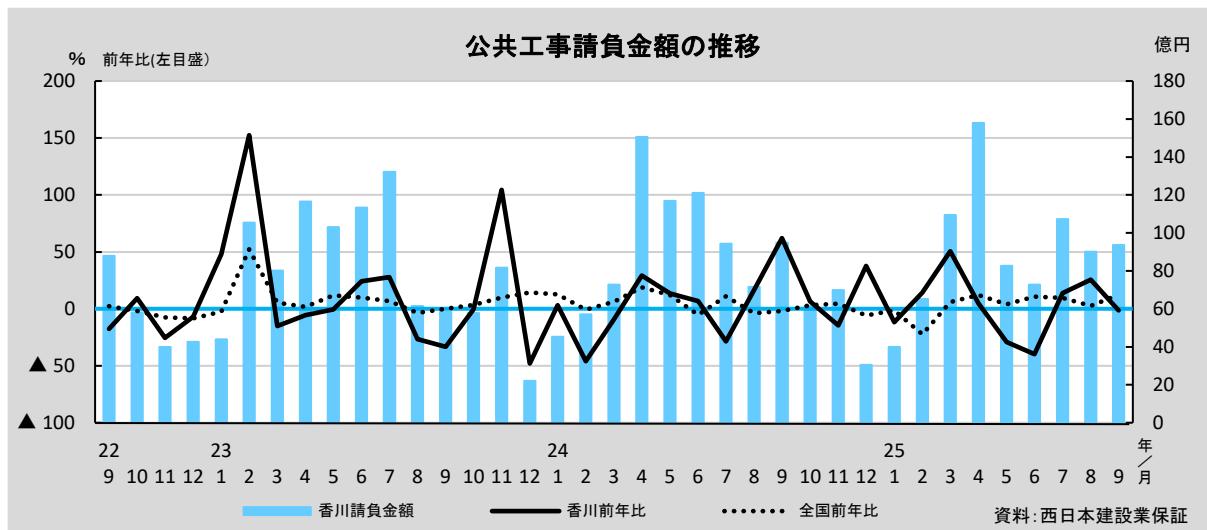
9月の新設住宅着工戸数は296戸で、前年同月比▲25.6%と3カ月連続で減少し。利用関係別にみると、持家で前年同月比▲9.6%、貸家で同▲56.1%、分譲住宅で同▲8.0%となった。

## 公共投資

持ち直しの動きに弱さがみられる

### ●公共工事請負金額

3カ月ぶり減少



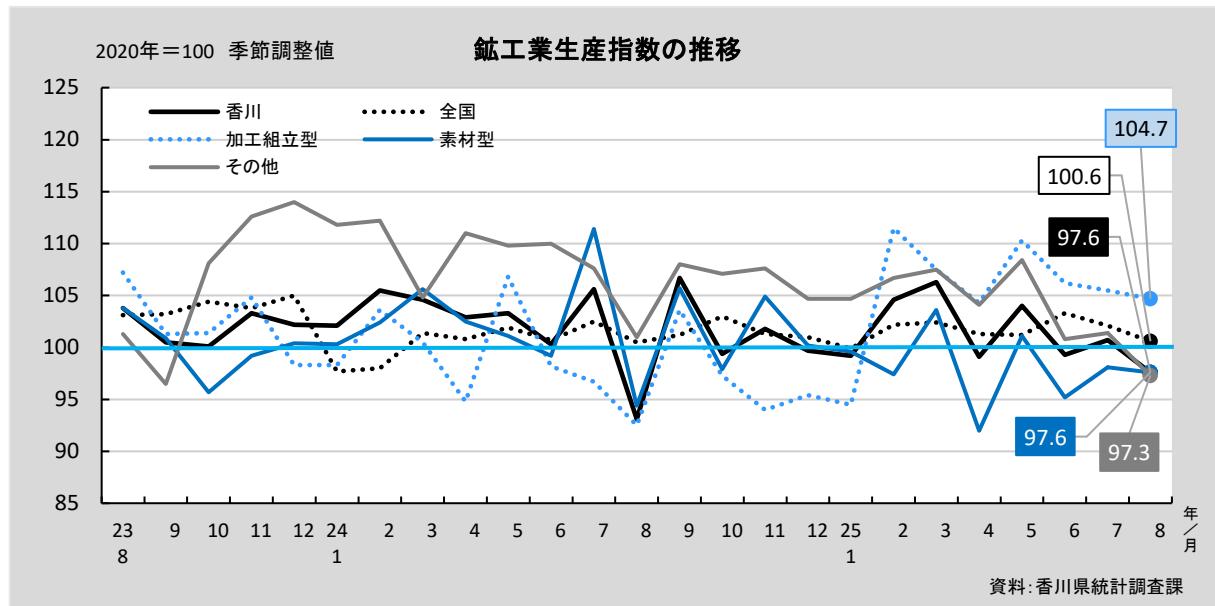
9月の公共工事請負金額は93.6億円で、前年同月比▲1.3%と3カ月ぶりに減少し。発注者別にみると、国・独立行政法人等で前年同月比+81.5%、県で同▲9.4%、市町で同▲27.9%となった。2025年度(4~9月)の累計では前年同期比▲6.9%と減少している。

## 生産活動

横ばい圏内の動きとなっている

### ●鉱工業生産指数

2カ月ぶり低下 



8月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は97.6（前月100.7）となり、2カ月ぶりに低下した。

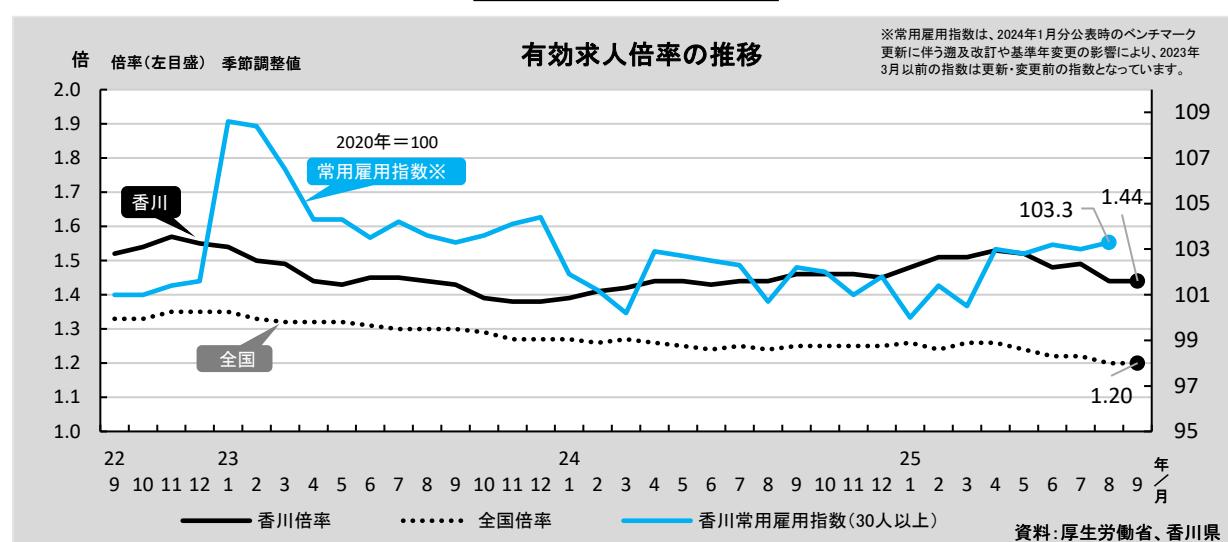
業種別では、素材型の金属製品工業（アルミニウム製建具など）は前月比▲15.9%、その他業種の食料品工業（食用油など）は同▲11.9%と低下した。一方、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は同+27.4%と上昇した。

## 雇用情勢

緩やかに持ち直している

### ●有効求人倍率

前月と同水準 



9月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.44倍（全国6位）で前月と同水準となった。

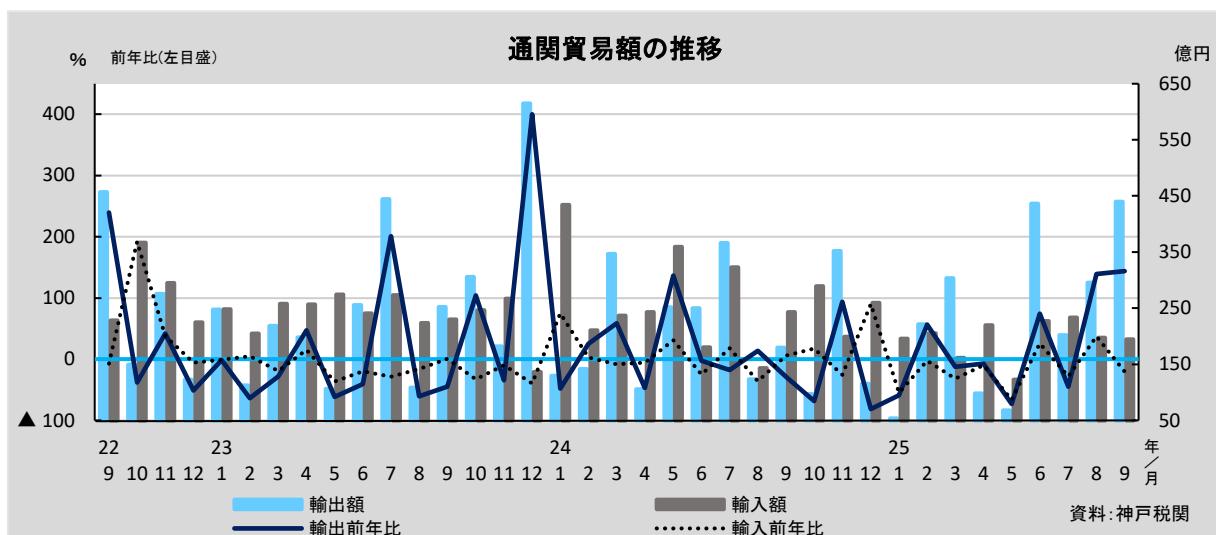
新規求人（原数值：前年同月比）は、宿泊業・飲食サービス業、運輸業・郵便業、情報通信業等で減少となり、全体で▲0.8%と2カ月連続で減少した。

8月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、103.3となり、前年同月比は+2.6と7カ月連続で増加した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.16
事務的職業	0.63
販売の職業	2.31
サービスの職業	3.19
生産工程の職業	2.39
輸送・機械運転の職業	2.59
建設・採掘の職業	5.51
運搬・清掃・包装等の職業	1.25

## 貿易

輸出は増加、輸入は減少している

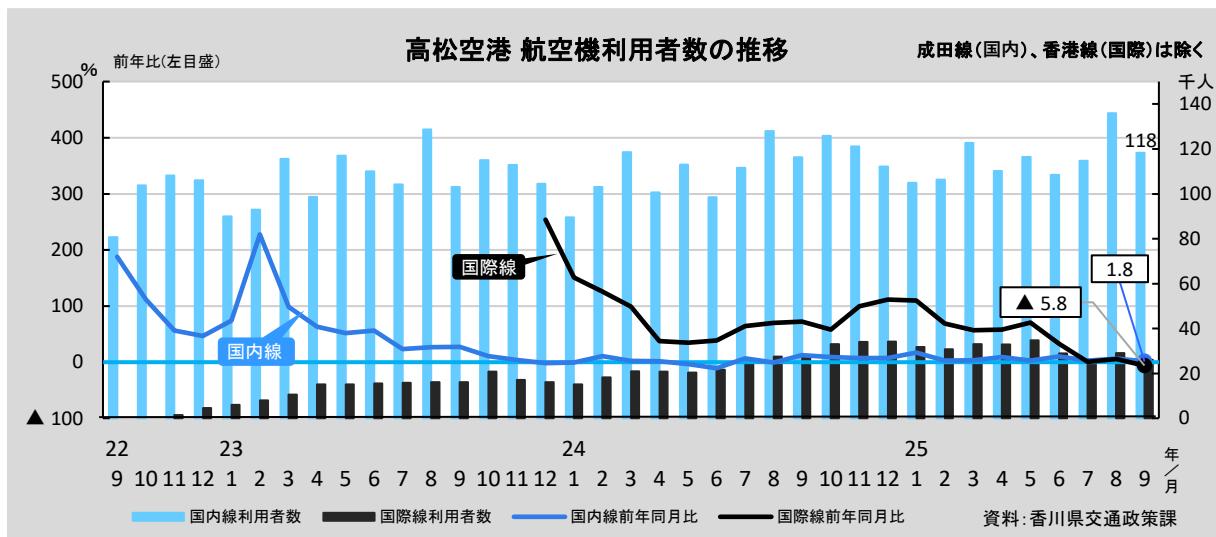


9月の輸出額は前年同月比+144.1%の439.8億円、輸入額は同▲20.0%の194.7億円となり、差し引き245.1億円の出超となった。輸出は前年ゼロだったタンカー輸出額が134億円となり増加に寄与した。輸入は前年52億円だった液化天然ガス輸入額がゼロとなり減少に寄与した。

## 交通

国内線は13カ月連続増加、国際線は23カ月ぶり減少

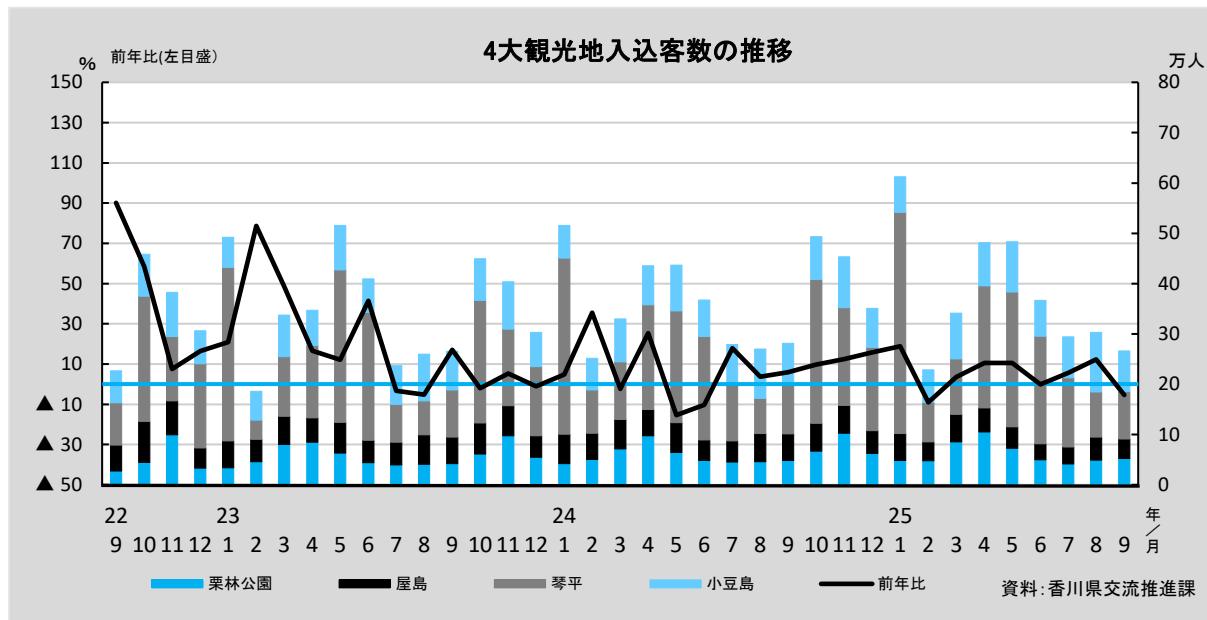
### ●高松空港旅客輸送実績



9月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が118,351人(前年同月比+1.8%)となり、13カ月連続で増加した。羽田線は110,032人(同+2.0%)、那覇線は8,319人(同▲1.1%)となった。

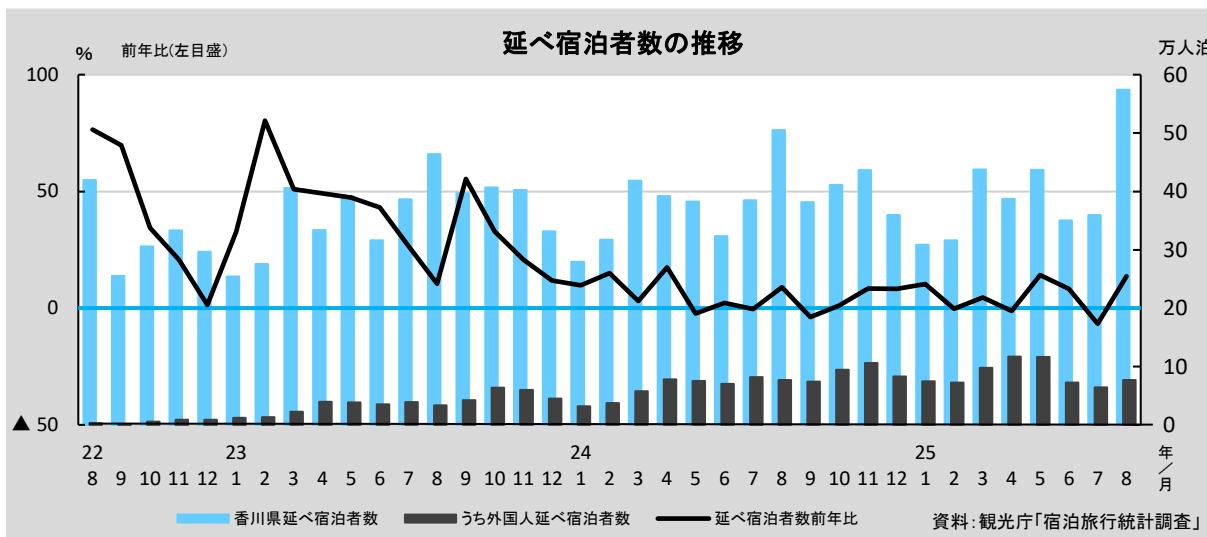
国際線は、ソウル線15,169人(同▲11.2%)、上海線4,385人(同▲16.8%)、台北線6,548人(同+22.2%)で合計26,102人(同▲5.8%)と23カ月ぶりに減少した。

## ●主要観光地入込客数



9月の主要観光地の入込客数は、前年同月比▲5.4%と3カ月ぶりに減少した。屋島は前年同月比▲26.9%と大幅な減少が続き、琴平は同▲4.1%、小豆島は同▲0.8%と減少した。一方、栗林公園は同+7.7%と増加した。2025年（1~9月）の累計では前年同期比+6.7%と増加している。

## ●延べ宿泊者数



8月の延べ宿泊者数574,220人泊で、前年同月比+13.7%と2カ月ぶりに増加した。うち、外国人延べ宿泊者数は77,210人泊となり、前年同月比+0.4%と2カ月ぶりに増加した。